

毎月21日に、  
みんなでやるっば



「セーフコミュニティ国際認証都市久留米市」は、平成25年12月21日に誕生したとよ。

毎月21日は、みんながやっているセーフコミュニティの活動を一齐にやってほしかとよ。

そうすれば、活動の輪が広がって、「日本一！安全安心のまち久留米！」になるばい！

### やろうよ！セーフコミュニティ！

私たちの生活には、たくさんのセーフコミュニティ活動があります。  
みんなで、できることから始めましょう。

#### 家の中で、できるよ

- ☑家族（自分）に、眠れていない、食欲がない人がいないか確認しましょう
- ☑つまずいて転ぶところがないか確認しましょう（カーペット、電気コードなど）
- ☑家具の転倒・落下防止対策ができていないか確認しましょう
- ☑非常持出品の確認をしましょう（懐中電灯、ラジオの故障、予備電池など）
- ☑非常備蓄品の確認をしましょう（人数分あるか、賞味期限を過ぎていないかなど）
- ☑玄関灯や門灯を点灯して、地域を明るくしましょう

#### 外出するときに、できるよ

- ☑夜、外出するときは、明るい服や反射材を身に着けましょう
- ☑自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶりましょう
- ☑車の運転中は、携帯電話やカーナビの操作をしないようにしましょう
- ☑夕暮れ時に自転車や車に乗るときは、早めにライトを点灯しましょう
- ☑犬の散歩やウォーキングをしながら、あいさつを交わしましょう

#### 学校・職場・地域で、できるよ

- ☑自分がされてイヤなことは、相手（友達）にもしないようにしましょう
- ☑不安や悩み事があったら、1人でかかえこまず、まわりに相談しましょう
- ☑欠勤・遅刻・早退が増えている人がいないか確認しましょう
- ☑子育て中の親子に会ったら、温かいまなざしと優しい笑顔で応援しましょう
- ☑災害時に備えて、緊急連絡網をつくり情報伝達訓練をしましょう

見えるところに貼って毎月21日に実践しましょう

みんなで取り組む安全安心のまちづくり

# セーフコミュニティ 国際認証都市 久留米市



みんなでやろうよ！  
セーフコミュニティ

くろっば



わんわんパトロール活動

#### セーフコミュニティって何？

「けがや事故は偶然の結果ではなく、予防することができる」という考えのもと、地域のみなさん、各種団体、行政が一緒になって「安全安心のまちづくり」を目指す取り組みで、WHO（世界保健機関）が推奨する国際認証です。



子どもの見守り活動

#### なぜ、取り組むの？

- ① けがや事故が減るので、安全安心が向上します。
- ② 個人、家庭、学校、職場、地域、みんなで一緒に取り組むことができます。
- ③ 統計データやアンケートを使って評価・検証・改善するので、効果が向上します。
- ④ 国際認証のため、「安全安心のまち久留米」のイメージがアップします。

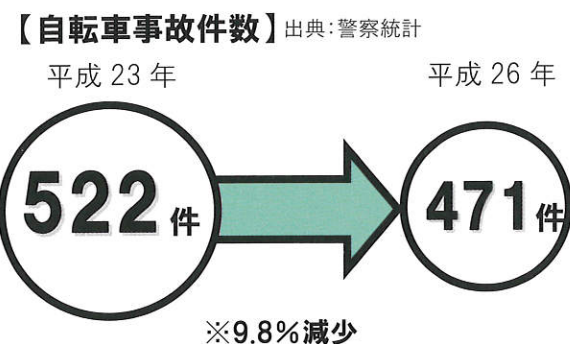


## セーフコミュニティの取り組みや効果の一部を紹介します。

### 交通安全

**データ分析** 自転車関連事故は、10代での発生が突出して多い

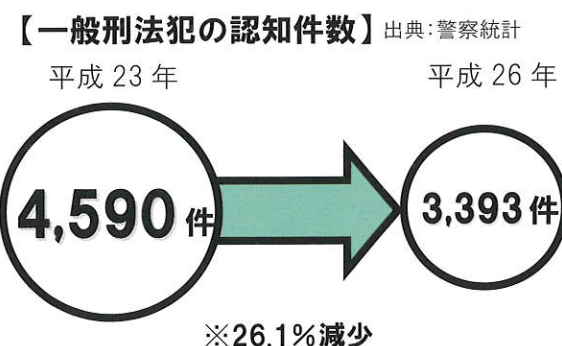
**とりくみ** 子どもたちの自転車事故や高齢者の交通事故を予防するため、年齢に応じた交通安全教室や、自転車利用のマナーアップキャンペーンなどを実施しています。



### 犯罪・暴力の予防

**データ分析** 犯罪は、大型商業施設・駅・繁華街で発生しやすい

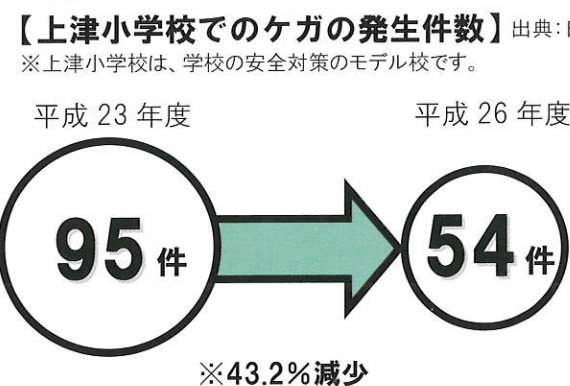
**とりくみ** 地域や人が多く集まる場所での犯罪を抑止するため、青色防犯パトカーによるパトロールを実施しています。また、DVを容認しない意識作りのため、中学生や高校生を対象に、デートDV防止の啓発講座を実施しています。



### 子どもの安全

**データ分析** 学校でのけがの多くが、休み時間に発生

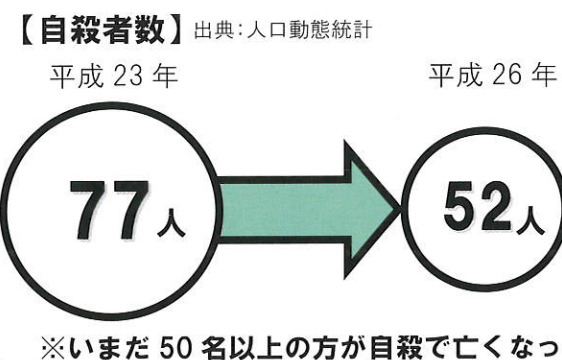
**とりくみ** 学校内や通学路でのけがや事故を予防するため、危険な場所を意識できる掲示板の作成や、校区内をフィールドワークして危険な場所をまとめた「校区安全マップ」を作成しています。



### 自殺予防

**データ分析** 自殺は、久留米市の事故等による死亡原因のトップ

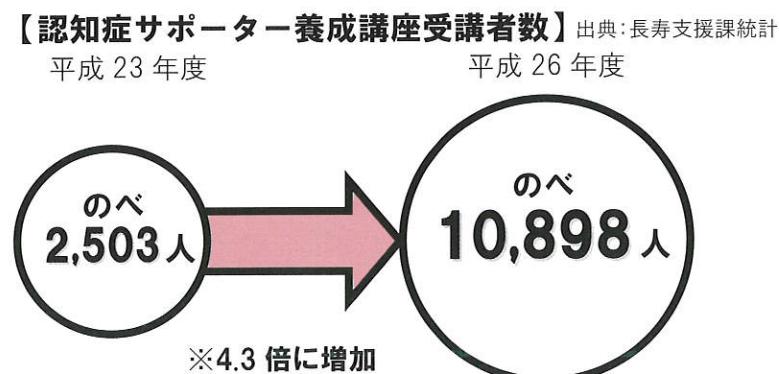
**とりくみ** 自殺を予防するため、自殺のサインに気づき相談窓口につなぐ「ゲートキーパー」の養成や、関係機関と連携して支援する体制づくりに取り組んでいます。



### 高齢者の安全

**データ分析** 高齢者の虐待相談・通報件数は、横ばい状態

**とりくみ** 認知症を正しく理解することで高齢者への虐待を防ぐため、認知症の人や家族を地域や職域などで温かく見守る「認知症サポーター」を養成しています。



### 防災

**データ分析** 大規模災害時における救出者の約 9 割が家族や近隣住民

**とりくみ** 地域による防災力を向上するため、各校区で自主防災訓練の実施や、自力や家族の協力では避難できない人の個別支援計画を作成しています。

